



翠嵐学年に新しい先生が加わりました

翠嵐学年に新しい仲間が加わりました。阿部利征^{としゆき}先生と関口洋平先生の2人です。2人とも担当教科は数学。阿部先生は月曜・水曜の偶数クラスを樋場先生と、関口先生は水曜・金曜の奇数クラスを進藤先生と一緒に指導します。よろしくお願いします。



阿部利征 先生 関口洋平 先生

全校生徒会選挙・立会演説会

11/5(木)、全校生徒会選挙・立会演説会が行われました。2年生から生徒会長(1名)、副会長(男女各1名)にそれぞれ立候補があり、演説会を行った後、教室で各クラスの選挙管理委員の指示のもと、投票を行いました。選挙結果は以下の通りです。1年生の後期学年生徒会選挙は11/10(火)が立候補受付締切、演説会・選挙は11/16(月)に実施する予定です。選挙管理委員会のみなさんはもうひと頑張りです。

全校生徒会選挙結果

- ・会 長 大友寧々さん(201)
- ・副会長 佐々木基さん(206) 永沢幸乃さん(202)



103研究授業(理科)

11/2(月)、103組の研究授業が行われました。教科は理科、内容は「光の屈折」です。20名近くの先生方が参観しましたが、3組のみなさんは緊張せず、いつも通り課題に取り組んでいました。話を聞く姿勢や話し合いにおける態度も素晴らしく、実験器具の取扱もスムーズでした。参観された指導主事の先生から「1年生とは感じられないほど落ち着いて課題に取り組んでいる。」という感想をいただきました。



今後の予定	放課	日程・内容	放課	日程・内容
16日(月)	15:30	部活動休止日	19日(木)	15:50 後期中間テスト②・指導主事訪問
17日(火)	15:30	部活動休止日	20日(金)	15:15 若竹タイム
18日(水)	15:40	後期中間テスト①・部活動休止日	※放課時間は変更となる場合があります。	

○外発的動機を利用する～後期中間テストに向けての参考資料～



動物に芸を覚えさせるときにはしばしばエサという報酬を使います。こうしたご褒美のことを心理学では「外発的動機」といいます。これは、勉強においてもよく利用されているようです。「苦手な国語で80点とったら、好きなものを買ってやる」と保護者に言われて、がんばる生徒もいるでしょう。「テストが終わったら遊園地にいこう」と自分を鼓舞する学生もいるでしょう。こういう方法は動機が不純でよくないという人がいるようですが、外発的動機を利用する方法は、心理学的には有効な手段として活用されています。実際に、外発的動機がまったくないと、学習能力がひどく落ちてしまうことが確認されていますし、動物にいたってはまったく学習できなくなってしまうことが普通です。ところで、外発的動機は、なにも目に見えるご褒美である必要はありません。なにかをやりに遂げたという達成感もまた外発的動機となるでしょう。実際に、目標を達成したときに感じる喜びは十分な報酬に値しますよね。ですから、勉強においては必ず学習目標を設定するべきでしょう。「目標は高いほうが良い」とよくいわれますが、これでは、達成して報酬を得る回数が減るばかりか、達成すらできずに挫折を感じてしまうことにもなりかねません。ですから、大きな最終目標以外にも、小さな目標、達成可能な目標を随時作っていくことが大切です。私は、毎日毎日小刻みな目標を達成できるような低レベルで設定して勉学に励んできました。そんな毎日のささやかな報酬があったからこそ、あきらめずに最終目標に向かって進んでいくことができたのです。—カガクの学習法— copyright(c) Nagase Brothers Inc